



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月4日

上場会社名 株式会社ビーアールホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 1726 URL https://www.brhd.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤田 公康
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 川野 博明 TEL 082-261-2860
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

百万円未満切捨て

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	8,291	2.9	85	△72.8	76	△76.5	23	△88.0
2023年3月期第1四半期	8,056	△8.0	315	△57.4	325	△56.5	197	△60.8

（注）包括利益 2024年3月期第1四半期 59百万円（△66.7%） 2023年3月期第1四半期 178百万円（△64.3%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	0.52	0.52
2023年3月期第1四半期	4.38	4.34

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	39,989	13,629	33.9	297.81
2023年3月期	40,355	13,842	34.0	302.57

（参考）自己資本 2024年3月期第1四半期 13,542百万円 2023年3月期 13,739百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	6.00	-	6.00	12.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	6.00	-	6.00	12.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	16.6	2,050	25.3	2,000	23.1	1,300	26.7	28.67

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	45,795,000株	2023年3月期	45,795,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	321,646株	2023年3月期	384,596株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	45,418,241株	2023年3月期1Q	45,172,404株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限が緩和され、景気は緩やかに回復傾向にあります。しかしながら原材料価格の高騰、長期化するウクライナ情勢などの地政学的リスクによる世界経済への影響も不安視され、先行きは不透明な状況となりました。

当社グループの主力事業である建設業界におきましては、既存社会インフラの老朽化に向けた市場が拡大しており、高速道路のリニューアル工事、北海道新幹線及び北陸新幹線の延伸等、大型プロジェクトの継続が見込まれます。

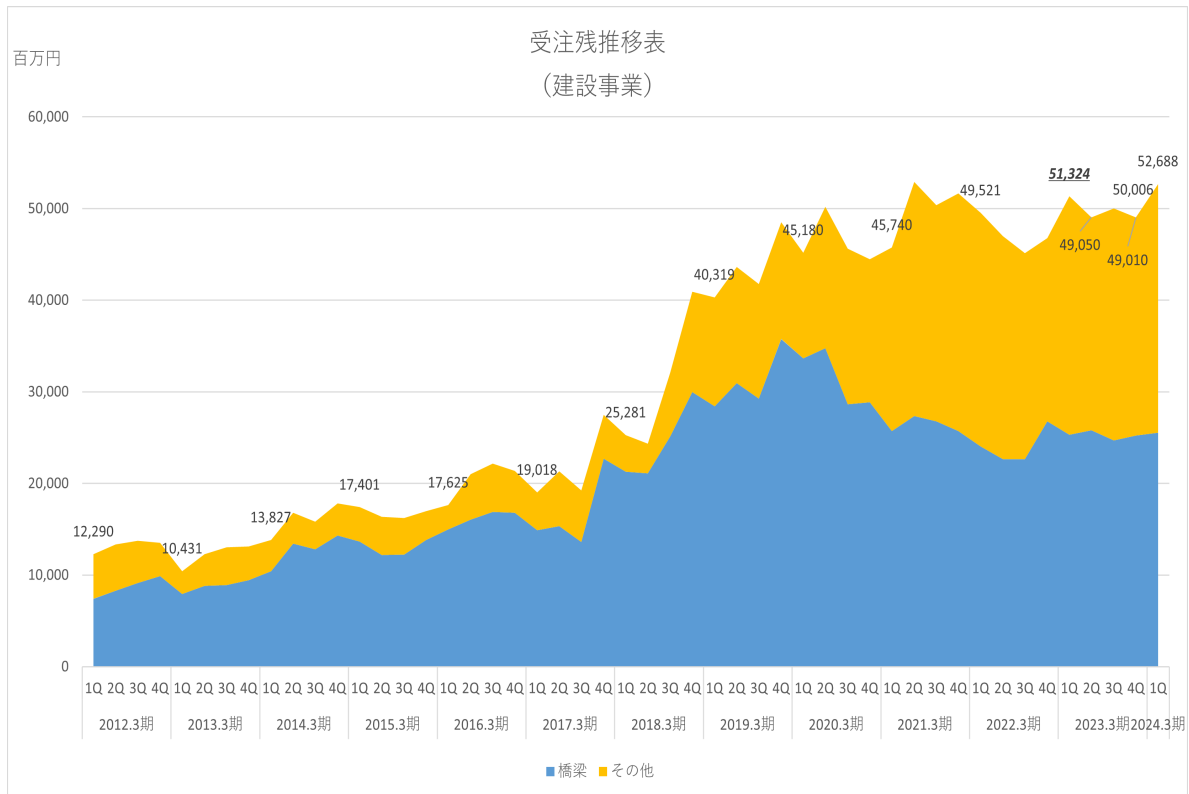
このような情勢の下、当第1四半期連結累計期間の売上高は8,291百万円（前年同期比2.9%増）、営業利益は85百万円（前年同期比72.8%減）、経常利益は76百万円（前年同期比76.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は23百万円（前年同期比88.0%減）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。なお、金額にはセグメント間取引を含めております。

(建設事業)

建設事業におきましては、北海道新幹線軌道スラブ製作運搬の大型受注があったものの、設計変更に伴う増額契約が第2四半期以降となったことにより、当第1四半期連結累計期間の受注高は10,944百万円（前年同期比6.0%減）となり、手持工事高は52,688百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

また、PC床版取替等大型工事の進捗が順調に進み売上高は前年並みの7,266百万円（前年同期比2.4%増）となったものの、設計変更に伴う増額契約が第2四半期以降となったことによりセグメント利益は490百万円（前年同期比19.0%減）となりました。



(製品販売事業)

製品販売事業におきましては、建築製品、床版製作の受注等により、当第1四半期連結累計期間の受注高は1,613百万円（前年同期比25.3%増）となりました。

また、PCマクラギ、橋梁製品製作及び床版製作の生産が進み、売上高は前年と同水準の936百万円（前年同期比2.5%減）となったものの、採算性の高い物件の減少等によりセグメント損失は16百万円（前年同期のセグメント利益は43百万円）となりました。

(情報システム事業)

情報システム事業におきましては、受注済案件が順調に進んだことから当第1四半期連結累計期間の売上高は122百万円（前年同期比39.5%増）、セグメント利益は5百万円（前年同期はセグメント損失2百万円）となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業におきましては、当社保有の極東ビルディングにおいて、事務所賃貸ならびに一般店舗・住宅の賃貸管理のほか、グループ会社の拠点として、当社が一括して賃借した事務所を各グループ会社に賃貸しており、安定した売上高を計上しております。

当第1四半期連結累計期間の売上高は42百万円（前年同期比3.2%減）、セグメント利益は17百万円（前年同期比8.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態につきましては、当第1四半期連結会計期間末の総資産は39,989百万円となり、前連結会計年度末比366百万円の減少となりました。その主な要因は、現金預金が828百万円、商品及び製品が379百万円、未成工事支出金が142百万円、材料貯蔵品が123百万円、それぞれ増加したものの、受取手形・完成工事未収入金等が1,940百万円減少したことによるものであります。

負債合計は1年内返済予定の長期借入金が500百万円、未成工事受入金が248百万円、賞与引当金が164百万円、電子記録債務が160百万円、それぞれ増加したものの、支払手形・工事未払金等が591百万円、長期借入金が799百万円、それぞれ減少したことにより、前連結会計年度末比153百万円減少の26,359百万円となりました。なお、有利子負債の残高は前連結会計年度末より299百万円減少の15,666百万円となりました。

純資産は、株主配当金272百万円の支払い等により、前連結会計年度末比212百万円減少の13,629百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

今後、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,837	2,665
受取手形・完成工事未収入金等	28,280	26,340
未成工事支出金	487	630
商品及び製品	1,373	1,752
仕掛品	233	244
材料貯蔵品	358	481
未収入金	1,958	1,987
その他	23	45
流動資産合計	34,553	34,147
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	2,278	2,246
土地	2,201	2,201
その他（純額）	562	570
有形固定資産合計	5,042	5,018
無形固定資産	119	120
投資その他の資産		
投資有価証券	427	479
繰延税金資産	91	105
その他	139	135
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	640	702
固定資産合計	5,802	5,842
資産合計	40,355	39,989

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	5,255	4,664
電子記録債務	2,314	2,474
短期借入金	9,200	9,200
1年内返済予定の長期借入金	1,199	1,699
未払法人税等	149	98
預り金	249	293
未成工事受入金	2,044	2,293
賞与引当金	—	164
工事損失引当金	20	23
その他	386	555
流動負債合計	20,821	21,466
固定負債		
長期借入金	5,566	4,766
その他	124	126
固定負債合計	5,691	4,892
負債合計	26,513	26,359
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,114	3,114
資本剰余金	2,773	2,764
利益剰余金	7,912	7,663
自己株式	△152	△127
株主資本合計	13,647	13,414
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	92	128
その他の包括利益累計額合計	92	128
新株予約権	103	87
純資産合計	13,842	13,629
負債純資産合計	40,355	39,989

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	8,056	8,291
売上原価	7,104	7,500
売上総利益	952	790
販売費及び一般管理費	637	705
営業利益	315	85
営業外収益		
受取利息及び配当金	3	4
スクラップ売却益	13	9
その他	7	7
営業外収益合計	24	21
営業外費用		
支払利息	10	21
工事保証料	4	7
その他	0	2
営業外費用合計	14	31
経常利益	325	76
税金等調整前四半期純利益	325	76
法人税、住民税及び事業税	156	82
法人税等調整額	△27	△29
法人税等合計	128	52
四半期純利益	197	23
親会社株主に帰属する四半期純利益	197	23

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	197	23
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18	35
その他の包括利益合計	△18	35
四半期包括利益	178	59
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	178	59
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(賞与引当金の計上基準)

従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

なお、連結会計年度末においては、連結会計年度末までの支給対象期間に対応する賞与は、確定賞与として処理することとなっているため発生いたしません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	建設事業	製品販売事業	情報システム事業	不動産賃貸事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	7,092	892	61	10	8,056	—	8,056
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	68	26	33	128	△128	—
計	7,092	960	87	43	8,184	△128	8,056
セグメント利益又は 損失(△)	606	43	△2	19	666	△351	315

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△351百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△351百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	建設事業	製品販売事業	情報システム事業	不動産賃貸事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	7,266	921	94	9	8,291	—	8,291
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	15	28	32	76	△76	—
計	7,266	936	122	42	8,367	△76	8,291
セグメント利益又は 損失(△)	490	△16	5	17	497	△411	85

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△411百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△411百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

受注及び販売の状況

(1) 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

報告セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)
建設事業	10,944	94.0
製品販売事業	1,613	125.3
情報システム事業	195	139.2
不動産賃貸事業	42	96.8
合計	12,795	97.5

(注) 1. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

報告セグメントの名称	販売高 (百万円)	前年同期比 (%)
建設事業	7,266	102.4
製品販売事業	921	103.2
情報システム事業	94	153.3
不動産賃貸事業	9	94.7
合計	8,291	102.9

(注) 1. セグメント間取引については相殺消去しております。

2. 主な相手先の販売実績と総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)
西日本高速道路株式会社	2,840	35.3	2,903	35.2
中日本高速道路株式会社	—	—	1,161	14.1

なお、前第1四半期連結累計期間の「中日本高速道路株式会社」は、当該割合が100分の10未満のため記載を省略しております。

3. 上記金額には消費税等は含まれておりません。